

2015/12/10 作成 川村

## JSPE と NSPE との関係

当協会公開ウェブサイト「米国 PE 制度を支える諸団体」でも示しましたとおり、当協会の活動目的は専門職技師に関する制度を自律的に発展させていくという点で NSPE と共通しており、2001 年 8 月に NSPE との間で提携協定(affiliation agreement)を結んでいます。この協定の全文を以下に示します。

### **AFFILIATION AGREEMENT**

Between the Japan Society of Professional Engineers (JSPE) and  
the National Society of Professional Engineers (NSPE)

*WHEREAS*, JSPE is an individual membership organization including individual professional engineers licensed in the United States and elsewhere and living in Japan;

*WHEREAS*, JSPE has formally requested that the NSPE recognize such JSPE members as an NSPE Affiliated Group within the geographic boundaries Japan;

*WHEREAS*, the NSPE Constitution Article IV establishes a basis for NSPE Board of Directors recognizing one organization as an Affiliated Group in any geographic location in the world where no recognized state society then exists upon written acceptance of the provisions of the NSPE Constitution

*THEREFORE BE IT RESOLVED THAT* on July 30, 2001, the NSPE Board of Directors voted to approve the JSPE as an NSPE Affiliated Group under the following terms and conditions:

- (1) A minimum of ten (10) licensed members shall be required for the formation, the chartering, and continuance in good standing of such Affiliated Group;
- (2) NSPE encourages all eligible JSPE members (e.g., individuals licensed under the U.S. or any other country, graduates of ABET/EAC programs, and graduates of programs equivalent to ABET/EAC programs) to become NSPE members;
- (3) In all matters of local concern, the Affiliated Group shall have full autonomy but may call upon NSPE for advice, counsel, and assistance;
- (4) The Affiliated Group shall have no representation on the NSPE Board of Directors, but may attend all NSPE Board of Director Meetings;
- (5) The Affiliated Group shall be provided the same services by NSPE as are provided chapters of NSPE member state societies;
- (6) JSPE and NSPE shall continually explore opportunities for mutual cooperation to enhance the affiliation;
- (7) The NSPE Board of Directors may revoke the charter of the Affiliated Group if the Affiliated Group fails to conform to the NSPE Constitution after due and specific notice has been provided to the Affiliated Group

Signed this 27th day of August, 2001

President, National Society of Professional Engineers (NSPE)

Daniel Clinton

President, Japan Society of Professional Engineers (JSPE)

Hitoshi Hirose

JSPE の行事では、冒頭で NSPE が定めた Engineers Creed (エンジニアの信条)を唱和しています。また NSPE が発行する Code of Ethics for Engineers (エンジニアのための倫理規程) 最新版和訳をウェブサイト公開しています。

米国 PE 制度を支える諸団体が活動範囲を米国外にも広げようとしている理由として、多国間貿易自由化の流れを円滑に進める上で専門職技師の国際流動化を促進することも重要であること、および米国以外の文化や技術と接することで長期的に米国のレベル向上にもつながるとの考えがあると言われています。

日本が民間ベースで米国 PE 試験・FE 試験の導入に踏み切った背景も米国と同様の理由であり、当協会(JSPE)の使命は米国 PE 制度を通じて日米間の様々な交流を橋渡ししていくことにあります。

当協会が日米の専門職技師関係諸団体の中でどのような位置付けにあるかのイメージを図 1 に示します。

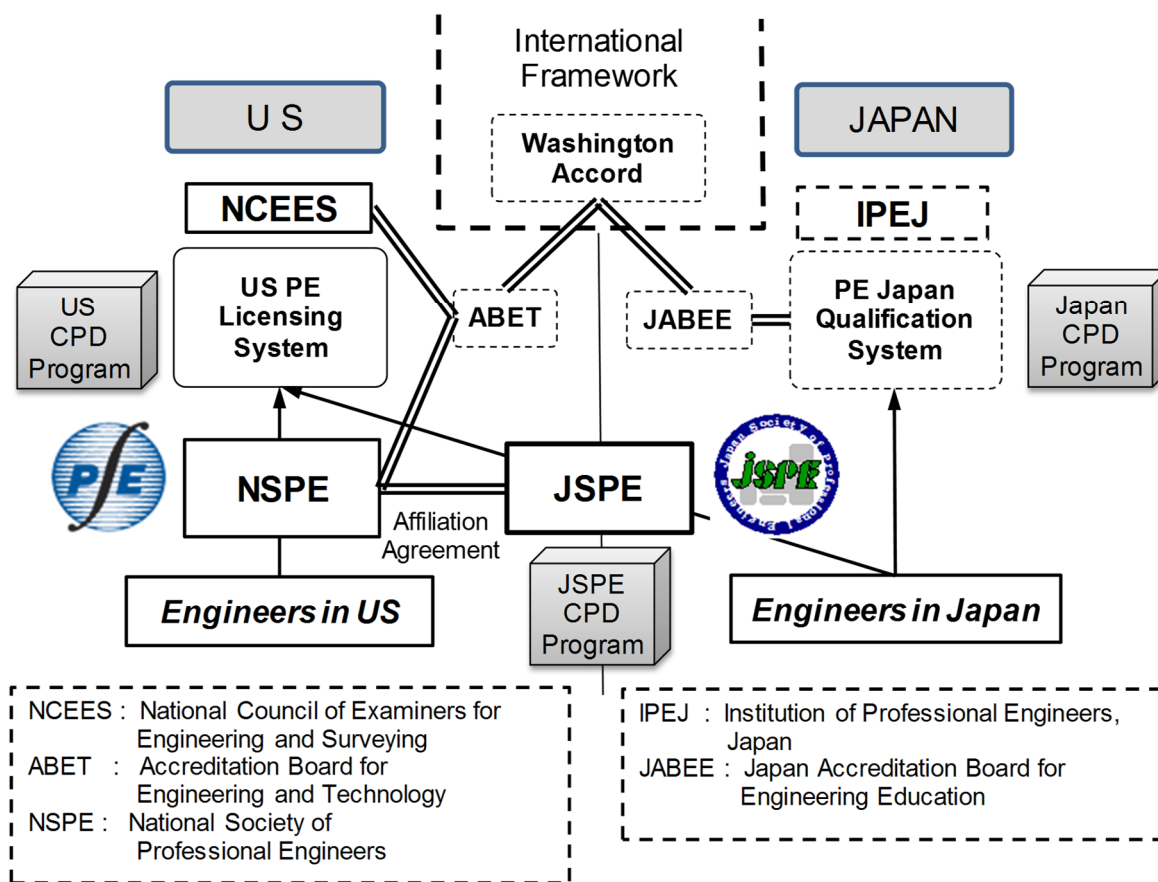


図1. 当協会(JSPE)を取り巻く日米専門職技師関連諸団体  
(参照: WECC2015 京都における JSPE ポスター発表資料より)

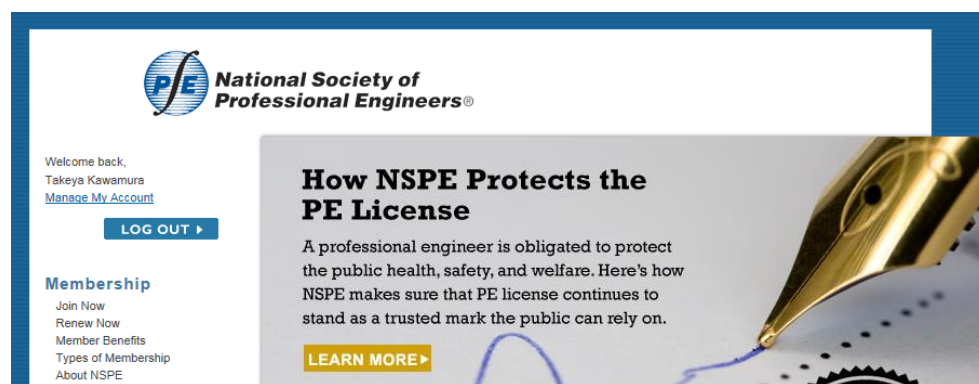
## NSPE 総会への参加

NSPE は毎年 7 月、米国の様々な都市で年次総会を開催していますが、JSPE は提携団体として 2003 年以來ほぼ毎年代表団を派遣し、米国 PE 制度の情報収集、米国 PE との交流を続けています。  
(各総会参加レポートへのリンク)

2003 年 サンアントニオ	丹下、松岡
2004 年 ホノルル	義本、関口
2006 年 ボストン	土屋
2007 年 デンバー	植村
2008 年 ポートランド (総会レポートマガジンリンク)	植村、内田、大久保、川村
2009 年 セントルイス (総会レポートマガジンリンク)	土屋、植村
2010 年 オーランド (総会レポートマガジンリンク)	土屋、川村
2011 年 ラスベガス (総会レポートマガジンリンク)	川村、三宮、馬場
2012 年 サンディエゴ (総会レポートリンク)	土屋、西川
2013 年 ミネアポリス (総会レポートリンク)	川村
2014 年 ワシントン DC (総会レポートリンク)	川村、竹政、小口
2015 年 シアトル (総会レポートリンク)	川村、西久保、馬場

## NSPE ウェブサイト [www.nspe.org](http://www.nspe.org) の内容 (2015 年 6 月確認)

NSPE はウェブサイトで米国 PE 制度に関連する様々な情報を提供しています。日本人には情報の意図がわかりにくい面もあるので、内容を簡単にまとめた表を以下に示します。



ウェブサイトの項目	内容
About NSPE	Heritage とあるページに NSPE が 1934 年に設立されたいきさつが要約されている。2009 年の設立 75 周年記念記事も掲載されている。
NSPE Who We are and What We do ?	NSPE の現在の活動方針 (Mission, Vision, Value および Statement of Principles)、活動戦略 (Race for Relevance) が示されている。
Leadership Toolbox	NSPE 総会や理事会の議事録、各州協会の運営様式などが閲覧で

ウェブサイトの項目	内容
	きる【NSPE 会員専用】
Licensure	先輩 PE がライセンス取得の価値を語るビデオが視聴できる。2013年に発行された Engineering Body of Knowledge (EBOK)がダウンロードできる。Maintaining License とあるページからは各州の CPD 要求一覧表がダウンロードできる。
Continuing Education	2015 年初頭に立ち上げられた新規企画サイト「PE Institute」にジャンプする。NSPE および各州協会が主催する CPD セミナーの案内などが一覧表示される。
Ethics	Code of Ethics2007 年版の英語原文および独語、仏語、西語訳が閲覧、ダウンロードできる。JSPE セミナーで唱和する Engineer's Creed もここに掲示されている。なお Code of Ethics の日本語訳は 2014 年初めに JSPE サイトに掲示した。
Board of Ethical Review (BER)	全米の PE から NSPE に寄せられる”倫理面で悩ましい事例”を毎月 1 件選定し、NSPE 内に設けられた擬似ボード委員会(BER)が Ethical/Unethical の判定を、Code of Ethics の規程に照らして行い、解説している。文献 3)はこの事例集が和訳刊行されたもの。
Professional Liability	米国内で販売されている PE 賠償責任保険業者のリスト、文書保存指針(document retention guideline)などが閲覧できる。
Career Center	エンジニアとして就職、転職する際、あるいは PE 登録申請する際、先輩 PE にどのように相談したらよいか、経歴書をどのように書けばよいかなどの情報が掲載されている。JSPE が 2014 年度に介したメンタリング活動はこの情報も参考にしている。
Interest Groups /Government	2008 年ポートランド総会におけるエンジニア指輪授与式の様子が掲載されている。
Interest Groups / Higher Education	FE 試験が米国工科系大学の卒業時能力評価ツールとして評価されているという調査資料(FE Assessment Tool) が掲載されている。
Interest Groups / Industry	Industry Exemption(企業内エンジニアリングにおいて PE ライセンスがスキップされる慣例の通称)の解説が掲載されている。この話題については文献 4)も参照下さい。
Issues and Advocacy	米国内のエンジニアリング関連法制の動向、NSPE としての政策提唱指針(Position Statement)などが閲覧できる。NSPE が連邦政府や各州政府に働きかけを行う際のツールともなっている。
Partners and State Societies	米国内で NSPE が支援している諸活動へのリンク(Engineer Week, Mathcount, NABIE, NICET など)
PE Magazine	月刊誌 “PE”が閲覧、ダウンロードできる。【NSPE 会員専用】
Blogs	現時点で「PE ライセンスとは」、「若手エンジニア」の 2 スレッドが動いている。
Shop NSPE	NSPE が過去に刊行した書籍、PE ステッカーなどが電子購入できる。NSPE の当初 50 年間の歴史をつづった文献 5)はここでも購入できる。
Students	就職時のアドバイスなどが掲載されている。
NSPE Educational Foundation	工科系学生への奨学金制度
Annual Meeting	毎年 7 月に開催される会員総会の案内。参加するには NSPE 会員となる必要があるが、総会の予定プログラムや終了後の写真などは誰でも閲覧できる。
News Room	NSPE 会員の全米各地における活躍、報道などが掲載されている。
Membership Join Now	NSPE 会員に電子入会できる。

## NSPE への入会案内

米国 PE 制度は州 PE ボードが監督する公的安全規制の一つですが、制度の根幹は NCEES や ABET といった非政府団体が自主的に管理していますので、半官半民の制度であるということが出来ます。従い、制度の運用や改善を政府任せとすると、やがて公衆の信頼を失って制度自体が崩壊するという危機感を米国 PE の多くは持っていると言われています。

NSPE は米国 PE 制度の自律的發展を図ることを目的として活動しており、各州にある PE 協会 (Society) を束ねています。

当協会は 2001 年 8 月に NSPE との間で提携協定 (affiliation agreement) を結び、会員のみなさまに NSPE への入会も推奨しています。

NSPE の個人会員となると次のメリットがあります。

- “PE” という NSPE の機関誌が毎月送られ、専門職技師制度に関する米国内外の情報が得られます
- “Daily Designs” “NSPE Update” というメールマガジンが毎日送られ、米国内外のエンジニアリング・ビジネスに関する最新動向が得られます
- NSPE 総会 (Annual Meeting) に参加する資格が得られ、米国の PE と直に交流することができます。(その気さえあれば、PE 制度の改善提案なども行えます。)

NSPE への入会は下記の URL からオンライン手続きまたは郵送により行えます。

<http://www.nspe.org/membership/join-now> (Membership / Join Now)

2015 年 12 月現在の年会費は 154 ドルです。

(PE ライセンス保持者または FE 試験合格者が “National Only” で入会した場合 (各州の PE 協会には加入しない場合)。各州の PE 協会にも加入する場合は追加料金が付加されます。学生の方は会費の割引があります。)

NSPE 入会を完了された方、および NSPE 入会手続きについてご不明な点がある方は、JSPE 渉外部会 (external.2007@jspe.org) へご一報下さい。

以上